

◆編集・発行

茨城町 町長公室 秘書広聴課
〒311-3192
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080
☎ 029-292-1111
メールアドレス
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人口

住民基本台帳
令和5年2月末現在
男 15,518人
女 15,410人
総人口 30,928人
世帯数 13,296世帯

◆茨城町民憲章

- 1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
- 1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
- 1 隣人や家庭の愛を大切に、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
- 1 自分の仕事に責任と誇りを持ち、活気に満ちた町をつくりましょう。
- 1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

- ◆町の花 桜
- ◆町の木 梅
- ◆町の鳥 うぐいす

◆町の防災行政無線が聞き取れなかった場合
防災行政無線テレホンサービス
☎0800-800-8848
(通話料無料)

町ホームページにも放送内容を掲載しています。

◆町の情報発信中!!

- 町公式ホームページ
<https://www.town.ibaraki.lg.jp/>
- 町公式ツイッター
<https://twitter.com/IbarakiTownMati/>
- 町公式Instagram
https://www.instagram.com/townibaraki_official/



里山に育む生きものたち

No.128 カサスゲ
(イネ目 カヤツリグサ科)

学名 *Carex dispalata* Boott

写真・文 安 昌美

▼カサスゲとは
カサスゲは、平地の湿地に生える夏緑性の多年草で、川や沼の縁、水田の用水路などに群生することが多い植物です。茎は50〜100cmになり、丈夫な葉をつけます。昔はこの葉を利用して、いわゆる菅笠や蓑が作られました。和名のカサスゲは「笠菅」と表記し、これに由来します。

菅笠や蓑は、ゴムやビニールの合羽などが無かった時代の雨具として長い間利用されていたと思います。スゲではなく稲わらで作られた蓑はあまり長持ちしませんでした。

もう町内でも、菅笠を被り、蓑を着て田植えなどをしたことがあるという人は少なくなっている

▼カサスゲの分布
カサスゲは、国内では北海道から九州に分布し、国外では南千島、朝鮮半島、中国、ウズリ、サハリンに知られています。

茨城県内でも各地に知られ、町内では各地の湿地や小さな流れに生育しています。私の野帳には網掛・馬渡・海老沢・大戸・上石崎・下石崎・常井・長岡・中石崎・生井

と思います。私も小学生の時に藁草履を作ったことはありません。菅笠も、今は観光用やお祭りなどのイベント用に作られるだけだそうです。カサスゲの名前は残っていますが、普段の生活からは遠い存在になりました。

▼カサスゲの繁殖
カサスゲは受精を伴う有性生殖と根茎など栄養体で広がる無性生殖をしています。

花期は春で、雄花の集まっていて小穂は先端に1個付き、雌花の集まっている小穂は下部に数個付き、側小穂と呼ばれます。風媒花ですが、写真を見ますと雄花はすでに花粉を散布し終わり、雌花は柱頭を伸ばして花粉を受けようとしているようです。同じ茎の受粉は避けているように見えます。近親交配を避けているのでしょうか。

沢・前田・南川又・宮ヶ崎が記録されています。全国的には圃場整備などにより生育面積は減少しているようです。

ちびっ子アート

いばらき幼稚園 「幼稚園で楽しかったこと」



「劇の練習」
ぬまた りく (5歳)



「お友だちと遊ぶこと」
ぐんじ すずか (5歳)